

女性医師等の勤務環境改善協議会

日 時：平成27年7月17日(金) 19時

場 所：大分県医師会館6階研修室Ⅱ

報告者：大分県医師会男女共同参画委員会
委員長 谷口 邦子

今年2月27日の研修会での後藤理事の提案を受けて、「女性医師等の勤務環境改善協議会」発足した。

後藤理事の提案

①産前産後の休暇体制（主治医ペア制，バックアップ体制）

個人，親戚，職場，所属医局，同窓会，女性医師の会でドクターバンク登録制

②乳児期，学童期の病児保育を含めた支援体制

③職場復帰への支援体制（専門的，基礎的，対人面，精神面）

対人面，精神面は地域の医療機関でも可能である

④勤務体制の柔軟化 時短，17時まで，当直など

新研修医制度，専門医制度などについて，「2025年問題」として

行政，医師会，基幹病院，大学の連携した話し合いの場が必要である

目的は「女性医師がよりよい環境で働く環境を整備することにより，若い医師を多く大分県に残ってもらうこと」である。

出席範囲医療機関

病院管理者 ①大分県臨床研修病院

②地域医療支援病院

③医師会立病院

④その他

今回の出席者は10医療機関で，院長をはじめ事務職の出席が目立った。

先ず谷口委員長より，本会が調査したアンケート結果の説明とこの会に至ったいきさつを説明した。

その後，2月に大学で講演いただいた，西永和夫大分県医療政策課地域医療政策監に「大分県の女性医師の現状や，県が行っている事業の概要，他県の状況等」を，また，大学からは松浦恵子大分大学女性医療人キャリア支援センター副センター長に「女性医療人キャリア支援センター」の取組み〈聞き取り調査，施設訪問等〉について説明してもらった。

- 大分県 ①短時間正規雇用支援事業 去年は2例
 ②院内保育所運営費補助（平成27年度予算）
 ③院内保育所施設設備補助（平成27年度予算）
 ④医療勤務環境改善支援センター運営事業（平成27年度予算）
 ⑤女性医療人キャリア支援事業への支援（平成26年度～）

*鳥取大学附属病院における取組

- 大分大学 ①問題把握のための聞き取り調査 教授，医局長
 ②全国施設訪問（九大，神戸大，東京女子医大，旭川医大）
 ③支援策検討のための小規模グループ設置
 ④相談窓口開設
 ⑤復帰研修プログラム及びキャリアアッププログラムの策定等

そのあと各病院からの現状や，取組みについて話してもらった。

- * 医師の確保が難しい，女性医師が働きやすい環境ではないかと思っている。
- * システムは揃っているが，運用が難しい。
- * 学童保育・病児保育のスタッフの集め方に苦労している。
- * 男性医師の対応が問題である。当直の問題もある。
- * 医局の人事である。
- * 女性医師が当直免除・非常勤として勤務している。
- * 救急病院なので，過去に女性医師は1名である。
- * 40名中8名が女性であるが，現在4名が産休・育休中である。

医師の確保に苦渋している病院や，女性医師を優遇することに対する男性医師の正直な気持ちなど現実的な問題を挙げてもらった。病院と医師のマッチングをしたらという意見もあった。

今回は限られた時間で，問題の共有に終わったが，次回からは各医療機関の具体的な悩みを話してもらい，具体的な解決策を検討したいと思っている。参加の医療機関が増加することを期待している。